

△産業宣教 テサロニケとヤソン(使 17:1-9)	△レムナント伝道学 レムナントの現場性	△核心 世界を生かすプラットフォーム(使 1:8)	△散らされた弟子たち 旅程の始まり
□序論_25、やぐら=見張り人 「ネフィリム=産業」アメリカの大学の学を掌握するほど自分たちの産業をネフィリムにつなげた。しかし、その影響でアメリカは急速にゾンビ社会に変わっている。 1. プラットフォーム パウロが世界を征服したプラットフォームを見なさい。 1) I テサ 1:3 信仰、望み、愛 2) I テサ 1:5 力と聖霊と強い確信 3) I テサ 5:16-18 絶えず祈りなさい。それが大変ならば、病気になったのだ。 2. 見張り台 ここで光を放つ見張り台ができる。 1) パウロ 2) チーム パウロとともにチーム。これらが見張り台だ。 3) 現場弟子(持続) 持続する現場弟子がついたが、これが見張り台だ。 3. アンテナ 1) 分析 テサロニケという名前が重要だ。 2) 時代背景 アレクサンドロスが占領してローマが占領した 3) 人 ギリシヤ人、貴婦人、ヤソン この人たちがアンテナだ △それゆえ、私の産業が教会を生かすやぐらになるべきだ。私は世界福音化のためにどんなやぐらを建てるのか。パウロが動いたところに全部プラットフォーム、見張り台、アンテナがあるやぐらを作ったのだ。 □本論_やぐらキャンプ 福音のやぐらキャンプが始まらなければならない。 1. 始まり(使 17:1-2) 1) パウロ 2) 彼らが 3) いつもしているように パウロが「彼らが」と言った。どのように人を生かすことができるプラットフォームを作って、光を伝えることができるのか、疎通の場を作ることが、いつもしていることだ <u>使 13:1-4</u> <u>使 16:6-10</u> <u>使 17:1-2</u> いつもしていることのために、門が閉ざされたとき、聖霊に導かれてテサロニケまで来た。産業人はやぐらを作ってこそ、産業、次世代、教会を生かすことができる。 2. 内容 <u>聖霊の働き</u> 1) 三つの安息日(タイム) テサロニケに留まることができる時間 2) 会堂に入り込んだ。 3) キリストの当為性「なぜ十字架で死ななければならないのか。なぜ復活しなければならないか」の当為性を説明 3. 実 <u>聖霊の実</u> 1) ギリシヤ人 大きな影響 2) 貴婦人 職責が偉い人 3) ヤソン 4) 広場 市場で与えた影響が大きくて反対側の人々が告発 神様が<u>備えられた者、備えられた所、備えられたこと</u>に会うようになったのだ。すべての産業人は教会を生かすやぐらを作りなさい。産業がやぐらになるようにしなさい。 □結論_真の復興の条件 <u>I テサ 5:12-22</u> <u>いつも</u> 1. いつも喜びなさい 2. 絶えず祈りなさい 3. すべてのことについて感謝しなさい。	□序論_先行く作品 1. ヨセフ、苦しみを夢に 2. モーセ、絶望の中でミデヤンで創世記を 3. サムエル、契約の箱(I サム 3:19)のそばで祈りを 4. ダビデ、羊飼いで(詩 78:70-72) 5. エリシャは危機のとき、これ(Ⅱ列 2:9-11)によって 6. ダニエル 捕虜で、心を(ダニ 1:8-9) 7. パウロは選択された者(使 17:3、18:4、19:8) □本論_ CVDIP の旅程 1. 先行く CVDIP が基準 1) 創 37:1-11 兄たちが考えられないこと 2) 出 2:1-10 年を取って確認 3) I サム 3:1-18 神様の御声 4) I サム 16:1-13 実際に先行く作品 5) I 列 19:19-21 自ら進んで 6) イザ 6:13、ダニ 1:8-9 レムナント、ダニエルが 7) II テモ 2:1-7 農夫、競技する者、霊的戦いをする者 2. 編集・設計・デザイン CVDIP 1) 創 39:1-6 は奴隷で 2) 出 3:18-20 ホレブ山 3) I サム 3:19 このときから 4) I サム 17:1-47 ゴリヤテに会って 5) II 列 2:9-11 霊の二つの分け前 6) ダニ 6:10 集中祈り 7) II テモ 3:14-17 働きの始まり 3. ただ・唯一性・再創造 CVDIP 1) 創 46:1-5 総理、ただ 2) 出 5:1-12 10 奇跡、出エジプト 3) I サム 7:1-15 ミツパ運動 4) 雅 4:1-5、I 歴 29:10-14 1 千やぐら、神殿準備 5) II 列 6:8-24 ドタンの町運動 6) ダニ 6:20-22 王を感動、全世界動かす 7) II テモ 4:1-5 伝道者として □結論_未来をあらかじめ作品として、御座の力刻印	□序論 1. <u>見張り人</u>—<u>やぐら</u>(見張り人はやぐらがあるべき) イザ 62:6-12 主を休ませないように。大路を造り、国々の民—旗 エゼ 3:18-20 危険に陥った人に伝達、I ペテ 2:9 光を伝える王である祭司 マタ 5:13-16 世界の光、イザ 60:1-2 主の栄光が臨んだので起きて光を放て。 創 1:3 創造の光、ヨハ 1:11 光として来られたイエス様 △聖書の答えと伝道が起こらないならば確認して私を変えるべき 2. 見張り人の内容—<u>3・9・3</u> 三位一体の神様が私の中に、御座の力 9 つで働き、時代(過去、今日、未来)生かすべき 3. 祈り—やぐらの中のやぐら 世界を<u>変化</u>させる祈り—生活のリズムに乗る祈り 朝—3・9・3 の祝福を味わう時間、昼—出会い、仕事に 3・9・3 祈り伝達、夜—答えを受ける深い時間 △これを味わうとき、世界を生かすプラットフォームが作られる。 4. 祈りで堅い要塞である<u>サタンのやぐら(Ⅱコリ 10:4)</u>を破ることができる(ルカ 10:19)—ローマ、ユダヤ人、中世教会、3 団体、偶像神殿のプラットフォーム 5. 神様がくださったプラットフォーム—カルバリの丘(ヨハ 19:30)、オリブ山(使 1:3 御座の祝福、神の国のこと 40 日説明)、マルコの屋上の間(成就体験)、この契約を受けたアンテオケ、パウロが狙った会堂 □本論_プラットフォーム 1. 三位一体の神様が私の中に臨むことが祈り 1) 創 1:27、2:7、2:18 三位一体の神様の力が私のいのち、たましい、生活の中に臨むように祈り 2) ピリ 2:6 イエス・キリストは神の御姿 3) ヨハ 1:1-14 みことばは神様。みことばが人として来られたイエス・キリストその御名で祈り 4) ヨハ 10:30 わたしと神様は一つ。イエスを信じて神の子どもになること 5) 使 1:1、3、8 前の書—キリストという証拠。神の国、聖霊が私に臨むように祈り 2. 根本いやし 1) 創 1:27、2:7、2:18 神のかたち回復、神様のいのちの息を受けること 2) ヨハ 1:11、12 光として来られたイエスを受け入れ—神の子どもになる權威 3) ヨハ 6:1-14、<u>63</u>(いのちのパンで根本いやし) 3. 霊的いやし 1) I ヨハ 5:11-12 キリストが信じられるのが証拠 2) II コリ 5:17 新しい被造物 3) ガラ 2:20 私は死に、私の中にキリストがおられること □結論 1. 7 時代(わざわいを受けるとき、この力を持っている Remnant が世界化=世界宣教) 2. ヘブ 11:38 信仰の英雄 3. 使 2:1-47 マルコの屋上の間教会で始まり、使 11:19-30 アンテオケ教会 ロマ 16:1-27 ロマ 16 章の人々	□序論_祈り(答え)の旅程 1. 使 2:9-11 聖霊の満たしが臨む時(17-18)—未来が見える 2. 使 2:41-42 3000 弟子が起きる(伝道) 3. 使 11:19 大きい患難がアンテオケ教会を建てた(宣教) 4. 使 13:1-4 聖霊の導き 5. 使 16:6-10 (門が閉ざされた時)トロアスの夜、ターニングポイント) 6. 使 16:13 (祈り場に行く時)ルデヤ出会い) 7. 使 16:16 (いやし対象がいるその道に行きなさい) 8. 使 19:1-7 (マルコの屋上の間の働きが起こり、ツラノの門が開かれる) 使 19:8-20 (神の国のこと説明—いやし起こる) 9. 使 19:21、23:11、27:24 10. ロマ 15:23 (イスパニアまで、その当時の地の果て) □本論_この道にだけ行けば… 1. Trinity 実際の働き 1) 創造、救い、聖霊の力で働き 2) カル、オリ、マルという実際の証拠が起こり始め 3) 使 1:1-8 (最後の講壇や永遠の講壇) 2. 三つの答えが来る 1) WITH 2) Immanuel 3) Oneness 3. 三つの証拠が来る 1) 過去 2) 今日 3) 未来 □結論_祈りのやぐらを建てなさい 1. 御座 2. 天の權威 3. 地の權威 4. 宇宙の力 5. 未来疎通

△区域メッセージ (第 16 週) 罪の赦しの確信と 25 の答え (I ヨハ 1:9)	△聖日 1 部礼拝 私、家系を暗やみから解放させなければ(ロマ 7:4-6)	△聖日 2 部礼拝/237 宣教委員会献身礼拝 私の中に、世界を生かすやぐらを立てなければ(使 1:1-8)
□序論 1. 神様を離れた罪 人々が神様を離れた罪はキリストの十字架の奥義でなければ絶対に解決できない。 1) 創 3:4-5 それゆえ、サタンに捕えられることが起こった。 2) 創 6:4-5 神様を離れて熱心に生きたがネフィリムになってしまった。 3) 創 11:1-8 後ほどバベルの塔になったのだ。 2. 先祖、家系の霊的問題 1) 使 13 章-シャーマニズム 2) 使 16 章-占術 3) 使 19 章-大きい偶像 3. 苦しみ-神様を離れると、続いて苦しみが 6 つで来る。 1) ヨハ 8:44 悪魔に属している。 2) 出 20:1-5 苦しみのために偶像、占いを探す。 3) マタ 11:28 心の病気が来始める。 4) 使 8:4-8 肉体の病気も来る。治すこともできない。 5) マタ 27:25 子どもに伝えられる。 6) ルカ 16:19-31 ある日、死後に地獄に行くようになる。 4. わざわいところで、ある日から全世界にわざわざが押し寄せる。 5. 人々は犯罪(殺人、自殺、ギャンブル、麻薬)に陥るようになる。 △すべての罪の原因をなくそうと、神様が約束したキリストを送られた。 □本論 1. 無条件赦し-神様はキリストを信じる者は無条件に赦される。 1) 理由 (1) 原罪-原罪は絶対に解決できない。 (2) のろい-神様が解決されると約束 2) ロマ 3:10、ロマ 3:23 義人は一人もいなくて、神様の栄誉を受けることはできないので、キリストだけが可能だ。 3) 創 3:15、出 3:18、マタ 16:16-20 キリストがサタンの権威を打ち破るだろう。血のいけにえをささげる日、解放されて出た。主は生ける神の御子キリストだからハデスの権威が勝つことができない。 2. 確信を持たなければならない。 1) 創 3:15、創 6:14、創 12:1-3 創 3、6、11 章から抜け出す道 2) ロマ 7:23-25 神様が私たちに与えられる力 3) ヨハ 9:3 私の問題は誰の罪でもなくて、神様の栄光を成し遂げるため 3. まことのいやし 1) 1・3・8 三位一体の神様がキリストで、ただ聖霊で、神の国でいやし 2) 御座の力で私たちとともに、神の国のことが成り立つこと約束 3) 過去、現在、未来、3 時代を生かす 24・25・00 という答えを味わう。 □結論 <u>深い祈り</u> 深い祈りの時間一日に一度だけ持ちなさい。神様の力を体験すれば、みな変えることができる。	□序論_見つけ出さなければならない重要な理由 1. 私が罪の奴隷ではなくて義の奴隷になった。しかし、私の中に二人がいて、私が善を行おうと思うが悪を行う。この問題は解決しない。それゆえ、キリストが必要だ。キリストを与えられた神様に感謝する(ロマ 7 章)。パウロはこれを置いて 3 度深い祈りをして神様の恵みを語った(Ⅱコリ 12 章) 2. 私の中に二人がいるのか。私の中に違うものが刻印されていること 3. 私はどのように祈らなければならないのか 1) 朝-三位一体の神様と御座の力、世界を生かす神様の力が私に臨むように祈り 2) 昼-出会い、仕事の中に、この祝福が伝えられるように祈り 3) 夜-業務が終われば答えを見つける祈り、いやし祈り □本論_本当に解決すること三つ 1. 私の中にあるサタンのやぐらを碎きなさい 1) マコ 3:13-15 呼ばれた理由-ともに、伝道、悪霊を追い出す権威を与えるため 2) ルカ 10:19 蛇とさそりを踏みつけ、敵のすべての力を制御する力 3) マタ 12:43-45 悪霊が入って家を作るのに追い出せば 7 倍で入る 4) マタ 12:28-29 聖霊が臨んでサタンが縛られれば神の国が臨む 5) Ⅱコリ 10:4 私たちの武器はどんな堅い要塞も破る神様の力 2. 神様のやぐらを建てなさい(25 節) 1) オリーブ山のやぐら-3・9・3 キリストを通した三位一体の神様、御座の力、未来生かす 3 時代の働きが私に臨むように祈り 2) カルバリの丘の力-創 3:15、出 3:18、イザ 7:14 が刻印されること (1) 創 3:15 女の子孫が蛇の頭を踏み砕く (2) 出 3:18 羊の血を塗る日解放 (3) イザ 7:14 インマヌエル 3) マルコの屋上の間のやぐら-三つの祭り成就 3. 感謝のやぐらを建てなさい(25 節) -いやしの奥義 1) レムナント 7 人-ヨセフ、ダビデ、パウロが最もたくさん言ったことばが感謝 2) 一つ一つに感謝したパウロ(Ⅰコリ 1:4、ピリ 1:3、Ⅰテサ 5:16-18) □結論 1. 祈りの中で刻印を変えるみことば編集 2. それを持って根をおろす祈り設計 3. 目に見えない反対のことは見るとき、見える現場を持ってデザイン △みなさん一人の祈りが家全体を変える。あきらめずに刻印をひっくり返しなさい。証人として変わるようになるだろう。 △家系、次世代、世の中を生かす力を持たなければならない。あきらめずに、サタンのやぐらを打ちこわし、神様のやぐら、感謝のやぐらを建てなさい。	□序論_25 時刻表の中の人々が世界やぐらを建てた(神様の時刻表でなければ) 1. 実際の状況 1) 先進国-戦争狂(偶像神殿を持って世界の人々を動かす) 2) 後進国-外を見ることができないやぐらがない。 3) ユダヤ教-生かすやぐらがない。世界化と反対に行った。 4) 次世代-偽物のやぐらに向かって疾走 5) 未来のわざわざい防ぐやぐらがない。 2. サタン-237 やぐらを作った。 1) 奴隷 2) 戦争 3) 捕虜 4) 属国 5) 流浪の民 △この中に引きずられて行った <u>RT</u> 捨てられた者のようだが残りの者、散らされた者のようだが残りの者、旅人のように見えるのに神様が残された者。合わせた単語が Remnant だ。このようにして、世界に光を照らされたのだ。伝道が分からなければ、信仰生活が分からないことで、宣教が分からなければ、経済と生活ができない。 3. モデル(答え)になる教会-三つの事件で世界変化 1) カルバリの丘事件(復活)-イエス様の十字架処刑と復活 2) オリーブ山(神の国)-神の国のことを 40 日説明 3) マルコの屋上の間-力を受けるために集まる。オリーブ山のミッション成就。 □本論 <u>三つの庭の特徴</u>は「25 <u>生活</u>の祈り」 △ヨセフは生活を持って神の国を成し遂げたのだ。 1. 3・9・3 味わう朝の祈り(三位一体の神様、御座の力、3 時代を生かす力) -<u>プラットフォーム</u>が作られること 1) 詩 5:3 朝に主が私の声を聞いてくださる 2) ダニ 6:10 ひざまずいてエルサレムに向かって祈り 3) マコ 1:35 朝早くに祈り 4) 使 1:3 5) 使 16:13 朝に祈り場を探してピリピの責任を負うべき人物と出会い △祈りのほかは 237 をする方法がない。すべてのことをしながら祈りの中に! 2. 3・9・3 昼の祈り-<u>見張り台</u>(やみの中にいるので祈りで光を照らすべき) 1) 出会い-3・9・3 中での出会い 2) 事件-祈りを知っている人は疲れない。 3) 現場-最も変装しているここに祈りの光が入らなければならない。 3. 3・9・3 終える夜の時間-<u>アンテナ</u>(深い疎通の時間) 1) 深い時間-神様がくださる答えを持って寝なさい 2) いやし時間-相手の立場で考え、配慮 3) 力の時間 4) 神様がくださる答えを見つける時間 5) 237 に伝達する時間 □結論 <u>集中祈り</u> 1. 一般信徒-一つの国を置いて祈り 2. レムナント-一つの国のためのひとつの言語勉強 3. 教会-<u>237</u> 1) 24 -楽に出入りすることができるべき 2) 25-答えといやされて戻るべき 3) 永遠-行ってこの働きをすることができるべき △聖書にある重要なことを味わって、三つの庭を回復しよう。